

※本リリースは新潟交通、日本ユニシスの共同プレリリースです。重複して配信される場合がありますことをご了承ください。

2020年11月30日
新潟交通株式会社
日本ユニシス株式会社

**新潟市において
市街地オンデマンドバス「しも町オンデマンドバス」
の実証実験を2020年12月より実施いたします。**

新潟交通株式会社と日本ユニシス株式会社は、新潟市内でオンデマンドバスの実証実験を**2020年12月7日(月)**から実施します。従来の定時・定路線のバスが運行する「しも町」エリアを対象に**オンデマンドバス**を試験的に運行し、住民向けに利便性の高い移動サービスを提供します。新潟交通が関係機関と調整してバスの運行と住民への周知・広報を担い、日本ユニシスがオンデマンドバスの運用支援を行います。

本実験では本年3月に行った実証実験の結果を踏まえ、利用者から要望があった生活により関連した施設が立地する地域（新潟市役所・新潟大学病院周辺）へ運行経路を拡大し、更なる利便性の向上を目指しております。

また、デマンド（予約制）の仕組みを取り入れることで、地域住民に向けた柔軟で利便性の高いサービスの提供とバスの運行に関わる資源（車両、運転士）の有効活用も目的としております。

昨今の運転士不足や車両の維持コスト増大などの課題に対応するとともに、公共交通の使命である輸送サービスの継続を図る一つの方策として、将来的には朝夕の通勤通学時間帯は定時・定路線での運用、日中時間帯はオンデマンドバスによる柔軟な運用を目指す取り組みとなっております。

実験終了後には結果を検証し、将来にわたる地域公共交通の維持・継続に向けた、新たな移動サービスの構築に役立ててまいります。

※本実験は経済産業省と国土交通省が推進する「スマートモビリティチャレンジ」の支援事業である新潟市住民向け MaaS アプリ「りゅーとなび」とも連携し、新潟市中心部のさらなる活性化施策の立案に役立ててまいります。

【今後の取り組み】

日本ユニシスグループは、中期経営計画「Foresight in sight 2020」の重点施策のひとつに「スマートタウン = 生活者ファーストの共感型社会の創出」を掲げています。スマートタウン事業において、交通課題解決と街中の活性化を通じた魅力的なまちづくりを地域と一体となって進めています。デジタルの力で、移動と生活をより結びつけることで移動需要を喚起し、公共交通の利便性を向上させることで過度な自家用車依存を低減す

る移動社会を実現します。また、こうした活動を通じて得られた移動や生活に関するデータを分析し、まちづくりにも活用してまいります。

今回のオンデマンドバス実証事業を始め、複数の地域で「移動×生活」のモデル事業を展開しており、引き続き実用化に向けて取り組んでまいります。

1. 実証実験の実施内容

概要 従来の定時・定路線運行エリア(しも町エリア)を対象に、デマンド方式による区域運行を試験的に実施し、住民のデマンド交通に対する受容性の測定と運行時の課題を取得する。実施結果を踏まえ、次年度以降も段階的に実証実験を重ねて将来の本格実施を目指します。

主催 新潟交通株式会社

日本ユニシス株式会社

協力 SWAT Mobility Japan 株式会社

運行区間 しも町エリア～本町・古町周辺および新潟市役所・新潟大学病院

期間 2020年12月7日(月)～2021年2月26日(金)

※土日祝日および12月29日(火)～1月3日(日)は運休

運賃 210円

予約方法 スマートフォンアプリまたは電話

【SWAT Mobility Japan について】

SWAT Mobility Japan は、少ない車両台数で複数の乗客を効率良く相乗りさせる高精度のルーティングアルゴリズムを保有しており、オンデマンドによる相乗り送迎サービスや公共バスを世界7カ国(日本、シンガポール、ベトナム、フィリピン、インドネシア、タイ、オーストラリア)で展開しています。SWAT Mobility Japan は日本を最重点国と位置づけ、企業向けの相乗り送迎サービスに加え、日本特有の地域交通課題を解決すべく、地方自治体・交通事業者向けのオンデマンド公共バス導入を推進しています。

以 上

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/